



ヤッショ、マカシヨ。

華麗に群舞、情熱の3日間

山形花笠まつり

「ヤッショ、マカシヨ。」 威勢のいい掛け声と勇壮な花笠太鼓の音色。
真夏の夜を彩る、華麗に舞う花笠の群れ。

8月5日6日7日

“山形花笠まつり”ストーリーズ

「山形花笠まつり」は、蔵王開山1,250年にあたる昭和38年(1963)に「蔵王夏まつり」のイベントの一つとして誕生し、昭和40年(1965)、第3回から現在の単独開催になりました。

力強く心に響く「花笠音頭」と、それに合わせた威勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色、そして観客の笑顔の手拍子。「祭神 蔵王大権現」の山車を先頭に、華やかに彩られた衣装と「花笠」を手にした老若男女、国内外の踊り手たちが、山形の真夏の夜に繰り広げる、東北を代表する華麗で迫力のある群舞の祭典です。

花笠まつり 3つのエレメント

花笠音頭

山形県を代表する民謡で、その起源については諸説ありますが、明治・大正の頃、山形県村山地方で歌われていた「土突き唄」が元唄とされています。

「山形花笠まつり」では、従来の2歌詞に加え、県内外から公募した13歌詞を加えた15歌詞で構成され、最上川の流れた各地の名所名物が歌い込まれています。

花笠踊り

山形県内のおよそ10種類の様々な踊りを「山形花笠まつり」のために一本化して、誰でも手軽に踊れる新しい振り付け「正調花笠踊り～薫風最上川～(通称:女踊り)」が誕生しました。

その後、蔵王連峰の夜明けと大地をしっかりと踏みしめ、自然の恵みへの感謝をイメージした、勇壮な「正調花笠踊り～蔵王暁光～(通称:男踊り)」の他、「花笠踊り」発祥の地・尾花沢系の豪快に花笠を振り回すダイナミックな「笠回し系花笠踊り」や、参加者が独自に趣向を凝らした「創作花笠踊り」など、現在では多彩な踊りが加わりました。



正調花笠踊り～薫風最上川～
(通称:女踊り)



正調花笠踊り～蔵王暁光～
(通称:男踊り)



笠回し系花笠踊り



創作花笠踊り

花 笠

菅笠に“やまがたの花・紅花”をイメージした花をあしらったもので、踊り方に合わせて用意されています。また、創作花笠踊りでは手作りや思い思いの笠も使われています。

花笠まつり 参加のころえ 花笠まつり 参加の方法

● 「花笠音頭」に合わせて踊ろう

● 「花笠」を持って踊ろう

● みんなで楽しく踊ろう

● 団体参加

花笠パレードに団体として参加できます(事前エントリーが必要)

● 飛び入りコーナー

花笠パレードの最後尾で、自由に参加できます(ミス花笠が先頭)

● 輪踊りコーナー

ゴール地点で先頭集団が到着するまで、自由に参加できます

開催DATA

主 催	山形県花笠協議会・山形花笠まつり実行委員会		
開 催 日	毎年8月5日・6日・7日(3日間・日付固定)／雨天決行(ただし内容変更あり)		
会 場	山形市中心市街地メインストリート(十日町・本町・七日町大通り～文翔館)		
交 通 規 制	17:50～22:00ごろ(一部 16:00～)	開 催 時 間	18:00～21:45ごろ
踊 り 手	約14,000人／約160団体(3日間延)		
グ ッ ズ 販 売	CD、DVD等花笠公式グッズは公式ウェブサイトでご案内しております。		



山形県花笠協議会 〒990-8501 山形市七日町3-1-9 (山形商工会議所内)

TEL 023-642-8753(直通) (土・日曜・祝日はご利用できません。) TEL 023-622-4666(代表) FAX 023-622-4668